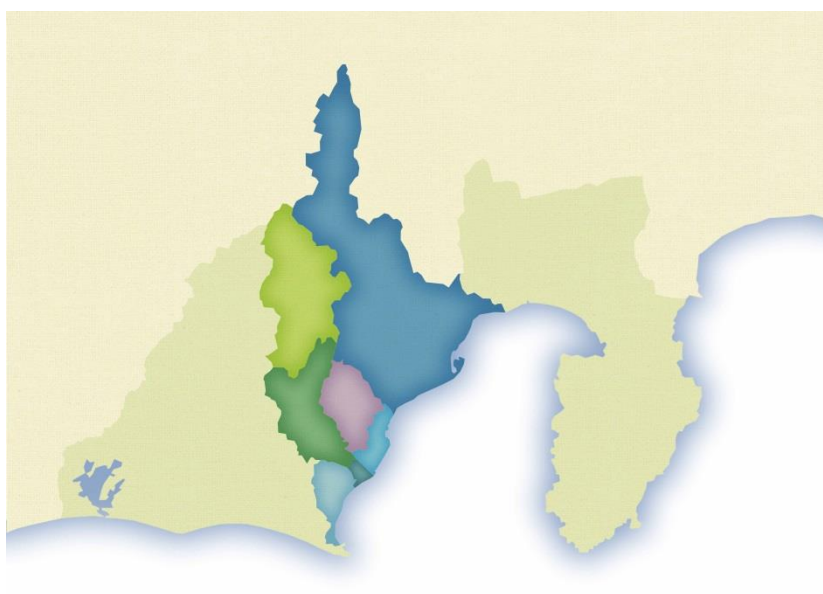


しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン

【改定】



平成 31 年 3 月

目 次

1	策定の趣旨	- 1 -
2	連携中枢都市圏の名称及び構成自治体	- 2 -
3	計画期間	- 2 -
4	連携中枢都市及び連携市町の概要	- 3 -
5 - 1	都市機能の集積状況	- 7 -
5 - 2	都市機能の利用状況等	- 10 -
6	圏域の状況	- 15 -
7	圏域が目指す将来像（都市圏像）	- 19 -
8	計画の体系	- 22 -
9	実施計画	- 24 -
10	計画の推進体制・進行管理	- 56 -

1 策定の趣旨

急速な人口減少、少子高齢化が進行する中であっても、静岡県中部地域に位置する連携中枢都市・静岡市と島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町及び川根本町が地域資源を最大限に活かし、経済成長や都市機能の集積と強化、生活関連機能サービスの向上に資する取組を、連携、協力することで、それぞれの持つ力の総和以上の総合力を発揮し、5市2町が共通して抱える人口減少などの大きな課題に立ち向かっていきます。

そこで、連携中枢都市・静岡市が各市町の独自性を活かす中で、将来にわたってこの圏域の一体的発展を目指し、具体的な取組を示した本ビジョンを策定することとしました。

連携中枢都市圏形成までの経過

H26年 8月22日	○ 中部5市市長会議 少子高齢化、人口減少社会の進展を踏まえ、地方中枢拠点都市制度を念頭に広域連携を推進する。2町も参画し、5市2町で連携を目指す。
H27年 8月31日	○ 平成27年度中部5市2町首長会議 「新たな広域連携促進事業」の今後の進め方について協議 ・取組方針 近隣市町が協力することが効率的・効果的な事業について5市2町で連携して取り組む等 ・実施内容 広域観光の推進等の6つの施策 ・実施体制 部会を設け具体的な検討・協議を行う等
H28年 3月 1日	○ 静岡市が中部5市2町の連携中枢都市として宣言
H28年 3月31日	○ 静岡市と焼津市が連携協約締結
H28年 4月28日	○ 「しずおか中部連携中枢都市圏（静岡市・焼津市）ビジョン」策定・公表
H28年 8月 2日	○ 平成28年度第1回中部5市2町首長会議 中部5市2町が連携して地方創生に取り組むために、連携中枢都市圏の形成を念頭に市長・町長同士の議論を加速化させることについて合意
H28年12月27日	○ 平成28年度第2回中部5市2町首長会議 既に連携協約を締結している焼津市を除いた島田市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町のそれぞれの市町と静岡市が、議会の次期定例会（2・3月議会）で連携協約に関する議案を上程し、年度内の協約締結を目指すこと、また、連携協約締結後、中部5市2町で「しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン」を策定することについて合意
H29年 2月14日	○ 平成28年度第1回しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン懇談会
H29年 3月 8日	○ 平成28年度第2回しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン懇談会
H29年 3月30日	○ 「しずおか中部連携中枢都市圏」首長宣言書・連携協約書 合同調印式 ○ 静岡市と島田市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町が連携協約締結 ○ 「しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン」策定・公表

平成28年4月に策定した「しずおか中部連携中枢都市圏（静岡市・焼津市）ビジョン」については、本ビジョンに引き継がれたものとします。

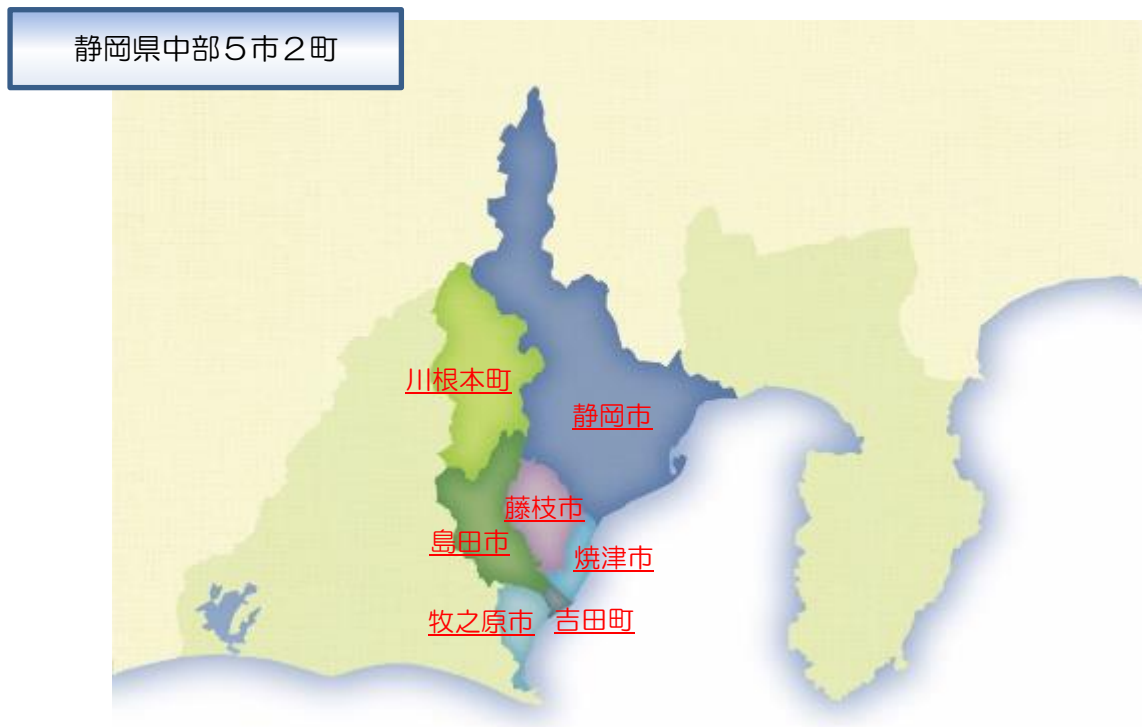
2 連携中枢都市圏の名称及び構成自治体

- (1) 連携中枢都市圏の名称

しずおか中部連携中枢都市圏

- (2) 連携中枢都市圏の構成自治体

静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町（5市2町）



3 計画期間

5 年間 : 2017 年度（平成 29 年度）～2021 年度

本計画は、毎年度、計画の進行管理を行い、時勢に沿った新たな連携施策を盛り込むなど、計画の見直しを行います。

4 連携中枢都市及び連携市町の概要

静岡県中部5市2町

日本のほぼ中央に位置する静岡県。静岡県中部5市2町は、その静岡県の中央に位置しています。北は3,000m級の南アルプスの山々、南は日本一の深さを誇る駿河湾に囲まれ、豊かな自然と温暖な気候に恵まれたエリアです。また、このエリアには、首都圏、西圏を結ぶ東海道新幹線、東名・新東名高速道路、国道1号という交通の大動脈が走っており、交通の要衝としても発展してきました。このほか、国道150号、362号、473号などの幹線道路、空の玄関口「富士山静岡空港」、世界に開かれた貿易港「清水港」なども備え、これからの発展も十分に期待されるエリアです。

静岡市

静岡市は、静岡県の中央に位置し、南に日本最深の駿河湾、北に赤石岳や聖岳など3,000m級の山々が連なる南アルプスを配する豊かな自然環境に恵まれた都市です。また、国際貿易と遠洋漁業の基地であり、国際拠点港湾として日本を代表する清水港を擁し、世界的な視野を持つ物流の中心地としての性格も併せ持っています。

平成17年4月1日に全国14番目の政令指定都市に移行し、また、平成18年3月31日には蒲原町と、平成20年11月1日には由比町と合併しました。平成24年4月に東西交通の軸となる「新東名高速道路」が開通しました。今後、南北交通の軸となる「中部横断自動車道」が供用開始される予定であり、現在その整備が進められています。

面積	1411.90km ²	世帯数	H22	279,019世帯	人口	H22	716,197人
			H27	288,249世帯		H27	704,989人



南アルプス（静岡市）



奥大井湖上駅（川根本町）

島田市

島田市は、南アルプスを源とする大井川の中流域に位置しており、北部の山々をはじめ四季に応じて彩られる豊かな自然に囲まれた都市です。旧東海道の宿場町として発展した歴史と文化を今に伝え、文金高島田に代表される島田髷の発祥地としても広く知られています。

平成の大合併を経て一つとなった島田、金谷、川根の3地域では、それぞれその名を冠する県内でも優良な茶を生産しており、地域の人々はお茶を通じた「おもてなしの心」を大切に育んでいます。

これまで育まれてきた風土や歴史・文化を次世代につなぎ、子ども達の健やかな成長のため安全・安心を実感できる都市づくりを進めるとともに、富士山静岡空港や新東名高速道路といった交通結節点としての地の利と、蓬莱橋や川根温泉、SLなどの地域資源を活用し、新たな価値を創造していきます。

面積	315.70km ²	世帯数	H22	33,280世帯	人口	H22	100,276人
			H27	34,310世帯		H27	98,112人

焼津市

焼津市は、東に富士山を望む駿河湾に面して約15.5kmの海岸線を有し、北は501mの高草山などの丘陵部を境に静岡市に隣接し、南には一級河川大井川が流れるなど豊かな自然に恵まれた都市です。

また、全国有数の水揚げを誇る特定第三種漁港の焼津漁港を有し、遠洋漁業の基地として主にカツオ・マグロの水揚げや沿岸のアジ・サバなどが水揚げされ、水揚げ量及び水揚げ金額の総合力で全国1位を堅持しています。

さらに、市内には市営港湾の大井川港をはじめ、東名高速道路の焼津インターチェンジと大井川・焼津・藤枝スマートインターチェンジを有し、近傍の富士山静岡空港などと陸海空の交通アクセスにも優れ、地域資源の豊富な地域です。

面積	70.31km ²	世帯数	H22	49,299世帯	人口	H22	143,249人
			H27	50,648世帯		H27	139,462人



桜とSL（島田市）



焼津漁港から見た富士山（焼津）

藤枝市

藤枝市は、東海道の宿場町として、岡部宿と藤枝宿の二つの宿場を持ち、交通の要衝として栄えてきました。また、大旅籠柏屋や田中城下屋敷等の史跡、藤枝大祭りや朝比奈大龍勢の伝統行事、お茶の生産地として培われた茶文化、大正時代から続くサッカーなど、豊かな歴史と文化を有する都市です。

「元気共奏・飛躍ふじえだ」をまちづくりの基本理念に、「健康」「教育」「環境」「危機管理」の「4K 施策」を重点的に進めるとともに、人を呼び込む拠点づくりとして中心市街地への都市機能の集積、拠点相互をつなぐ交通・交流ネットワーク、またネットワークを彩る花回廊等により、“新しい都市構造「コンパクト+ネットワーク」”を構築し、快適で活力あるまちづくりに取り組んでいます。

また、新東名高速道路藤枝岡部インターチェンジ、東名高速道路大井川焼津藤枝スマートインターチェンジの設置、富士山静岡空港と JR 藤枝駅を結ぶアクセスバスの運行などの交通インフラを活かした産業の発展や交流人口拡大を目指す取組を進めています。

面積	194.06km ²	世帯数	H22	49,658世帯	人口	H22	142,151人
			H27	52,315世帯		H27	143,605人

牧之原市

牧之原市は、静岡県の中中部地区の南に位置し、牧之原（牧ノ原）台地に広がる日本一の大茶園と美しい駿河湾に抱かれた自然豊かな市です。

東名高速道路・相良牧之原インターチェンジと御前崎港。さらには富士山静岡空港が高規格道路で連結された「陸・海・空」の交通結節地となり、産業面を中心に活力あるまちづくりを進めています。

また、日本有数の茶生産地で、茶処静岡県において一番の荒茶生産量となっています。静岡牧之原茶「望」を中心に「お茶のまち牧之原市」の PR と消費拡大に取り組んでいます。

平成 23 年 10 月 1 日に自治基本条例を施行し、「一人ひとりの思いが生かされるまち」を理念に掲げ、対話による市民協働のまちづくりに取り組んでいます。

面積	111.69km ²	世帯数	H22	15,607世帯	人口	H22	49,019人
			H27	15,416世帯		H27	45,547人



朝比奈大龍勢（藤枝市）



静波海岸（牧之原市）

吉田町

吉田町は、大井川河口の西岸に位置し、牧之原（牧ノ原）台地が北西側から中央部に突出しているほかは、町域の 90%以上が標高 20 メートル未満の平坦地です。大井川の豊かな伏流水や東名吉田インターチェンジの開設によって、企業が進出し、工業が盛んになりました。

沿岸部に位置する当町では、喫緊の課題である津波防災まちづくりに取り組んでおり、平成 25 年度に 15 基の津波避難タワーの設置を完了し、現在、多目的広場及び海浜回廊の整備による新たな防潮堤を構築する「シーガーデン」の整備に取り組んでいます。

誰もが暮らしやすいまちの実現のため、「津波防災まちづくり」と併せて、「福祉、子育て、健康づくり、教育」に配慮した取組を進めています。

面積	20.73km ²	世帯数	H22	10,253世帯	人口	H22	29,815人
			H27	10,244世帯		H27	29,093人

川根本町

澄んだ空気、目に鮮やかな新緑、野鳥のさえずり、そして紅葉、手に届きそうな星の輝き。素朴で豊かな自然に囲まれた川根本町。大井川上流部に位置し、町域の 90%以上が森林の山あいの町です。

四季折々の美しい景観の中に「美女づくりの湯」と呼ばれる寸又峡温泉、「若返りの湯」と呼ばれる接岨峡温泉などが点在しています。日本唯一のアプト式鉄道を有する南アルプスアプトライン、SL が毎日走る大井川鐵道、徳山のしだれ桜、南赤石林道周辺のアカヤシオ・シロヤシオなど観光資源に恵まれる一方、大井川を挟むように茶園が広がる、銘茶「川根茶」のふるさとでもあります。私たちの地域は、自然とともに生きる暮らし、長い歴史の中で守り受け継がれてきた住民の知恵や技を大切にし、お互い助け合い、支えあって暮らしています。伝統を継承する祭り、自然に親しむイベントが盛りだくさん、そして地元の人たちの温かさ魅力の「川根本町」です。

面積	496.72km ²	世帯数	H22	2,986世帯	人口	H22	8,074人
			H27	2,883世帯		H27	7,192人



春の小山城（吉田町）



大井川の清流（川根本町）

5 - 1 都市機能の集積状況

(1) 一般病院・診療所箇所数、病院病床数

	一般病院	一般診療所	歯科診療所	病院病床数
静岡市	24	541	349	7,674
島田市	1	67	39	536
焼津市	4	80	56	1,478
藤枝市	4	101	59	1,286
牧之原市	1	33	20	450
吉田町	1	16	9	180
川根本町		6	4	
計	35	844	536	11,604

(厚生労働省 平成 29 年医療施設調査)

(2) 主な医療施設

三次救急医療機関		静岡県立総合病院、静岡赤十字病院、静岡済生会総合病院 藤枝市立総合病院
二次救急医療機関		静岡市立清水病院、J A 静岡厚生連清水厚生病院、 独立行政法人地域医療機能推進機構桜ヶ丘病院、 静岡県立こども病院、静岡県立総合病院、静岡市立静岡病院、 静岡赤十字病院、静岡済生会総合病院、 J A 静岡厚生連静岡厚生病院、焼津市立総合病院、 市立島田市民病院、榛原総合病院、藤枝市立総合病院
休日・夜間急病センター		静岡市急病センター、志太榛原地域救急医療センター、 島田市休日急患診療所
周産期 母子医療センター	総合	静岡県立こども病院
	地域	静岡市立静岡病院、静岡済生会総合病院、 焼津市立総合病院、藤枝市立総合病院
災害拠点病院		静岡県立総合病院、静岡市立静岡病院、静岡市立清水病院、 静岡赤十字病院、静岡済生会総合病院、市立島田市民病院、 焼津市立総合病院、藤枝市立総合病院

(静岡県 第 8 次静岡県保健医療計画)

(3) 主な教育・文化施設

大学院	静岡大学大学院	人文社会科学研究科	71人
		教育学研究科	163人
		総合科学技術研究科	1,175人
		創造科学技術大学院	208人
		光医工学研究科	5人
		法務研究科	2人
	静岡県立大学大学院	薬学研究院	1人
		薬食生命科学総合学府	248人
		食品栄養環境科学研究所	—
		国際関係学研究科	15人
		経営情報イノベーション研究科	23人
		看護学研究科	25人
	法政大学大学院静岡サライタキャンパス	政策創造研究科	8人
	東海大学大学院	海洋学研究科	36人
	常葉大学大学院	国際言語文化研究科	4人
		初等教育高度実践研究科	36人
大学	静岡大学	人文社会科学部	2,033人
		人文学部	12人
		教育学部	1,356人
		理学部	978人
		農学部	776人
		地域創造学環	—
	静岡県立大学	薬学部	646人
		食品栄養科学部	309人
		国際関係学部	881人
		経営情報学部	456人
		看護学部	496人
	東海大学	海洋学部	2,170人
	常葉大学	教育学部	1,213人
		外国語学部	804人
		造形学部	366人
		法学部	681人
		健康科学部	597人
	静岡英和学院大学	人間社会学部	648人
	静岡福祉大学	社会福祉学部	573人
		子ども学部	157人
	静岡産業大学	情報学部	583人
短期大学	静岡県立大学短期大学部	こども 歯科衛生 社会福祉	303人
	東海大学短期大学部	食物栄養 児童教育	412人
	静岡英和学院大学短期大学部	現代コミュニケーション 食物	312人
	常葉大学短期大学部	日本語日本文学 英語英文 保育 音楽	545人
博物館等	静岡県立美術館、静岡市東海道広重美術館、静岡市立登呂博物館、静岡科学館る・く・る、静岡市立芹沢銈介美術館、静岡市美術館、駿府博物館、静岡市文化財資料館、フェルケール博物館、東海大学海洋科学博物館、東海大学自然史博物館、久能山東照宮博物館、島田市博物館、ふじのくに茶の都ミュージアム、焼津市歴史民俗資料館、藤枝市郷土博物館、ふじのくに地球環境史ミュージアム、牧之原市史料館		
文化施設	静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」、静岡県舞台芸術公園、静岡市民文化会館、静岡音楽館AOI、静岡市清水文化会館マリナート、島田市民総合施設プラザ「おおるり」、島田市金谷生きがいセンター、島田市川根文化センター、焼津市焼津文化会館、焼津市大井川文化会館「ミュージコ」、藤枝市民会館、藤枝市民ホールおかべ、牧之原市相良総合センター「いーら」、吉田町学習ホール、川根本町文化会館		

(静岡県教育委員会 平成 30 年度静岡県学校名簿、

静岡県博物館協会 HP、(公社)全国公立文化施設協会 HP)

(4) 図書館

	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町	計
図書館	13館	3館	2館	3館	2館	1館	1館	25館

(静岡県立中央図書館 平成 29 年度静岡県の図書館)

(5) 主要コンベンション施設

(1,000席以上)

静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」、ツインメッセ静岡、静岡市民文化会館、静岡市清水文化会館マリナート、清水マリンターミナル（清水港湾交流センター）、清水マリンビル（港湾会館清水日の出センター）、ホテルアソシア静岡、ホテルセンチュリー静岡、グランディエールブクトーカイ、焼津市焼津文化会館、焼津市大井川文化会館「ミュージコ」

(静岡県中部 5 市 2 町集客施設等調査)



焼津漁港（焼津市）



富士を望む山のお茶（静岡市）

5 - 2 都市機能の利用状況等

(1) 医療

① 一般・療養病床の患者流出率・流入率

医療圏	人口	流出率		流入率	
		(H29.5.31調査)	(H26.5.28調査)	(H29.5.31調査)	(H26.5.28調査)
静岡	701,803人	8.4%	8.8%	15.8%	16.1%
志太榛原	460,970人	18.4%	19.2%	5.3%	6.2%

※ 2次保健医療圏「静岡」の構成市は静岡市、

「志太榛原」の構成市町は島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町

※人口は、平成 28 年 10 月 1 日現在の推計人口

(静岡県 第 8 次静岡県保健医療計画)

② 救急医療の「救命医療」を担う医療機関

第2次救急医療圏	富士	清水	静岡	志太 榛原	中東遠
静岡県立総合病院		◎	◎	◎	
静岡赤十字病院		○	○	○	
静岡済生会総合病院		○	○	○	
藤枝市立総合病院				○	

※表中の○（◎は高度救命救急センター）は、各病院が主として担当する地域

(静岡県 第 8 次静岡県保健医療計画)

(2) 教育

① 高等学校進路別卒業生数

区分	計	大学等 進学者	専修学校 専門課程 進学者	専修学校 一般課程 等入学者	公共職業 能力開発 施設等 入学者	就職者	左記以外の 者の人数	大学等 進学率 (%)	就職率 (%)
静岡市	6,421人	3,935人	894人	354人	19人	940人	279人	61.3	14.7
島田市	973人	346人	158人	30人	2人	400人	37人	35.6	41.2
焼津市	902人	450人	177人	8人	5人	228人	34人	49.9	25.3
藤枝市	1,309人	740人	162人	55人	2人	292人	58人	56.5	22.3
牧之原市	435人	239人	48人	0人	3人	110人	35人	54.9	25.3
吉田町	—	—	—	—	—	—	—	—	—
川根本町	47人	16人	0人	11人	0人	19人	1人	34.0	40.4
計	10,087人	5,726人	1,439人	458人	31人	1,989人	444人	56.8	19.7

(静岡県 平成 30 年度静岡県学校基本統計)

② 博物館等

博物館等	入館者数	博物館等	入館者数
静岡県立美術館	146,498人	静岡市科学館る・く・る	261,705人
静岡市東海道広重美術館	28,392人	静岡市文化財資料館	8,205人
静岡市登呂博物館	184,891人	駿府博物館	15,132人
静岡市立芹沢銈介美術館	18,005人	島田市博物館	57,395人
静岡市美術館	167,547人	藤枝市郷土博物館・文学館	66,429人
静岡市立日本平動物園	581,183人	牧之原市史料館	14,254人

※ 平成 28 年度の入館者数

※ 島田市博物館入館者数には島田市博物館分館入館者数を含む。

(第 15 回静岡市統計書、(公財) 静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団 HP、島田市統計書(平成 29 年度版)、藤枝の教育 2017)

③ 文化施設

文化施設	利用者数又は件数	文化施設	利用者数又は件数
静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」	624,442人	焼津市焼津文化会館	247,376人
静岡県舞台芸術公園	15,567人	焼津市大井川文化会館	98,701人
静岡市民文化会館	504,083人	藤枝市民会館	102,733人
静岡市清水文化会館マリナート	472,239人	藤枝市民ホールおかべ	15,620人
島田市民総合施設プラザ「おおるり」	5,924件	牧之原市相良総合センター「いーら」	53,182人
島田市金谷生きがいセンター	2,513件	吉田町学習ホール	14,581人
島田市川根文化センター	1,097件	川根本町文化会館	14,694人

※ グランシップ、吉田町学習ホールのみ平成 29 年度、そのほかの施設は平成 28 年度の利用者数又は利用件数

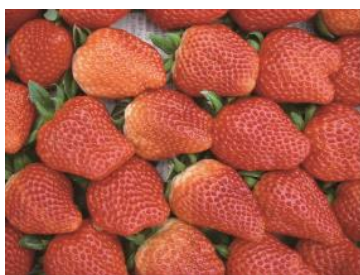
((公財) 静岡県文化財団 29 年度事業報告、平成 29 年度静岡県外郭団体点検評価表、第 15 回静岡市統計書、島田市統計書(平成 29 年度版)、統計やいづ第 101 号平成 29 年度版、平成 29 年版藤枝市統計書、吉田町統計要覧(平成 30 年版))

④ 図書館

	所蔵資料<図書>	登録者数	個人貸出冊数
静岡県立中央図書館	837,818冊	74,910人	63,188冊
静岡市立中央図書館	466,374冊	26,360人	752,763冊
静岡市立中央図書館麻機分館	64,976冊	2,308人	87,659冊
静岡市立中央図書館美和分館	60,698冊	1,319人	67,009冊
静岡市立御幸町図書館	152,413冊	21,802人	398,584冊
静岡市立藁科図書館	100,892冊	5,791人	131,650冊
静岡市立南部図書館	248,972冊	29,391人	835,589冊
静岡市立西奈図書館	174,822冊	11,743人	361,887冊
静岡市立長田図書館	164,115冊	14,265人	367,618冊
静岡市立北部図書館	115,189冊	9,860人	268,787冊
静岡市立清水中央図書館	484,861冊	25,845人	586,846冊
静岡市立清水興津図書館	132,050冊	7,797人	177,828冊
静岡市立蒲原図書館	98,633冊	3,937人	88,396冊
焼津市立焼津図書館	243,711冊	50,144人	489,676冊
焼津市立大井川図書館	127,411冊	*	202,414冊
藤枝市立駅南図書館	366,321冊	127,227人	669,302冊
藤枝市立岡出山図書館	140,455冊	*	221,434冊
藤枝市立岡部図書館	57,500冊	*	72,851冊
島田市立島田図書館	271,040冊	59,390人	409,886冊
島田市立金谷図書館	103,560冊	*	139,623冊
島田市立川根図書館	39,025冊	*	33,999冊
牧之原市立相良図書館	38,645冊	9,942人	37,376冊
牧之原市立榛原図書館	33,310冊	3,961人	33,517冊
吉田町立図書館	123,750冊	38,702人	191,414冊
川根本町文化会館図書室	23,687冊	363人	5,804冊

注) *分館において、本館の数値に含まれているもの

(静岡県立中央図書館 平成 29 年度静岡県の図書館)



いちご



みかん



うなぎ

(3) 観光交流

① 市町別形態別観光交流客数

(単位：人)

	観光交流客数			宿泊客数			観光レクリエーション客数		
	平成29年度	平成28年度	前年度比	平成29年度	平成28年度	前年度比	平成29年度	平成28年度	前年度比
静岡市	24,568,492	24,892,992	98.7%	1,816,020	1,713,437	106.0%	22,752,472	23,179,555	98.2%
島田市	2,024,028	2,847,870	71.1%	170,899	188,936	90.5%	1,853,129	2,658,934	69.7%
焼津市	4,008,053	4,039,472	99.2%	441,405	437,033	101.0%	3,566,648	3,602,439	99.0%
藤枝市	2,474,092	2,691,343	91.9%	237,868	214,960	110.7%	2,236,224	2,476,383	90.3%
牧之原市	2,666,664	2,675,185	99.7%	27,213	32,668	83.3%	2,639,451	2,642,517	99.9%
吉田町	296,616	294,610	100.7%	21,349	21,581	98.9%	275,267	273,029	100.8%
川根本町	347,988	333,416	104.4%	37,890	36,147	104.8%	310,098	297,269	104.3%
計	36,385,933	37,774,888	96.3%	2,752,644	2,644,762	96.1%	33,633,289	35,130,126	95.7%

(平成 29 年度 静岡県観光交流の動向)

② 地域資源

静岡市	茶、みかん、わさび、枝豆、たけのこ、石垣いちご、ボンカン、しょうが、バラ、プラスチックモデル、家具、雛具、削り節、まぐろ、しらす、桜えび、静岡おでん など
島田市	茶、バラ、レタス、木工製品、志戸呂焼、葛布、茶羊羹、炭、しいたけ など
焼津市	かつお、まぐろ、しらす、桜えび、うなぎ、鯉節、角煮、黒はんぺん、なると巻、水産缶詰、トマト、イチゴ、志太梨、ばら、しょうゆ など
藤枝市	藤枝茶、朝比奈玉露、藤枝桐タンズ、藤枝だるま、たけのこ、みかん、藤里梨、乾しいたけ、地酒、朝ラーメン、抹茶スイーツ、せとやコロッケ、おかべ焼きそば など
牧之原市	静岡牧之原茶、青島みかん、しらす、メロン、自然薯、ガーベラ、かすみ草、レタス など
吉田町	うなぎ、しらす、レタス、メロン、かりんとう など
川根本町	川根茶、しいたけ、自然薯、わさび、茶ようかん、大井川産木材、よもぎまんじゅう、ゆず など



しらす



桜えび



静岡おでん

文化財、 自然の風景地、 温泉その他の 地域の観光資源	富士山	県全域
	富士山静岡空港	県全域
	梅ヶ島温泉	静岡市
	焼津黒潮温泉	焼津市
	寸又峡温泉	川根本町
	川根温泉	島田市
	南アルプス	静岡市、川根本町
	駿河湾	静岡市、焼津市、牧之原市、吉田町
	奥大井県立自然公園	静岡市、川根本町
	牧之原海岸	牧之原市
	久能山東照宮	静岡市
	焼津さかなセンター	焼津市
	蓬萊橋	島田市
	茶茗館	川根本町
	花沢の里	焼津市
	浜通り	焼津市
	島田髷まつり	島田市
	島田大祭帯まつり	島田市
	大井川鐵道のSL	島田市、川根本町
	日本平	静岡市
	三保松原（三保海岸）	静岡市
	興津川の鮎釣り	静岡市

（静岡県 中小企業地域資源活用プログラムにおける「地域産業資源」より一部抜粋）



花沢の里（焼津市）



S Lと吊り橋（川根本町）

（４） 静岡市に対する通勤・通学者等の状況

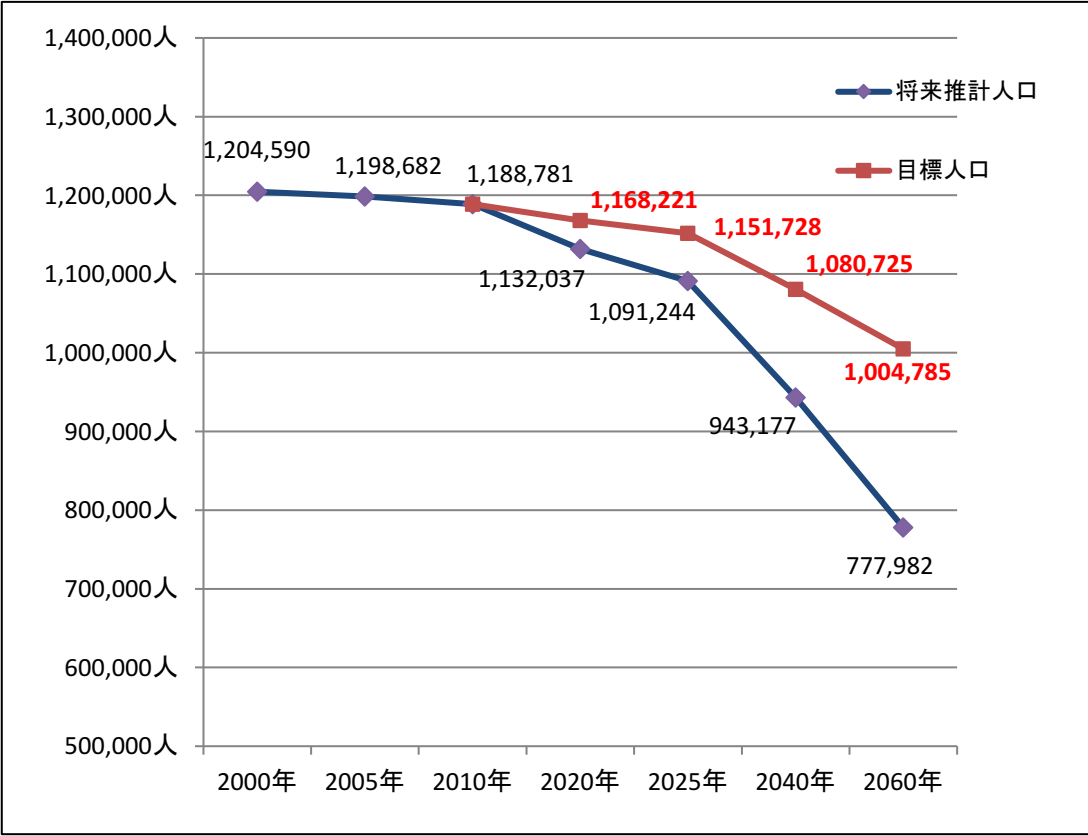
市町名	常住する就業者・通学者		静岡市への通勤・通学者		通勤通学割合
	就業者（人）	通学者（人）	就業者（人）	通学者（人）	
島田市	51,259	4,167	3,273	616	0.070
焼津市	71,138	6,066	9,861	1,434	0.146
藤枝市	72,854	6,547	10,164	1,250	0.144
牧之原市	25,691	1,872	557	179	0.027
吉田町	15,932	1,261	524	163	0.040
川根本町	3,708	205	51	2	0.014

（平成 27 年国勢調査）

6 圏域の状況

(1) 人口動態

① 静岡県中部地域（5市2町）の現在の人口と将来推計人口



(各市町人口ビジョン)

② 市町別人口動態

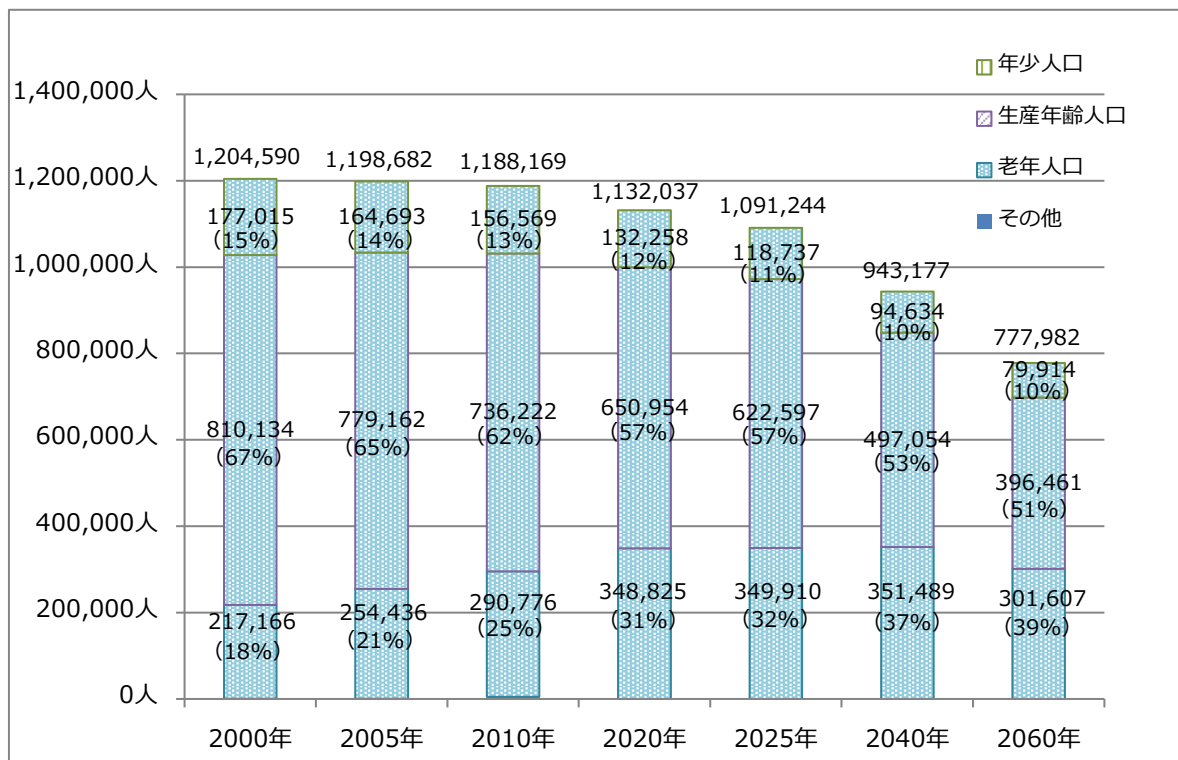
(単位：人)

市区町名	H22.10.1 人口総数 H22国調 (確報)	H27.10.1 人口総数 H22国調ベース 推計人口	平成22年10月から平成27年9月までの人口動態集計							H27.10.1 人口総数 H27国調 (確報)	市区町名
			純増減	自 然 動 態			社 会 動 態				
				出生児数	死亡者数	自然増減	転入者数	転出者数	社会増減		
静岡県 計	3,765,007	3,680,862	△ 84,145	153,650	192,036	△ 38,386	740,309	786,068	△ 45,759	3,700,305	静岡県 計
静岡市	716,197	703,114	△ 13,083	27,665	37,349	△ 9,684	134,434	137,833	△ 3,399	704,989	静岡市
島田市	100,276	97,647	△ 2,629	3,883	5,557	△ 1,674	13,120	14,075	△ 955	98,112	島田市
焼津市	143,249	138,614	△ 4,635	5,799	7,126	△ 1,327	21,323	24,631	△ 3,308	139,462	焼津市
藤枝市	142,151	143,440	1,289	5,707	7,020	△ 1,313	26,214	23,612	2,602	143,605	藤枝市
牧之原市	49,019	45,334	△ 3,685	1,813	2,931	△ 1,118	7,541	10,108	△ 2,567	45,547	牧之原市
吉田町	29,815	29,114	△ 701	1,405	1,307	98	6,249	7,048	△ 799	29,093	吉田町
川根本町	8,074	7,093	△ 981	167	705	△ 538	841	1,284	△ 443	7,192	川根本町
5市2町 計	1,188,781	1,164,356	△ 24,425	46,439	61,995	△ 15,556	209,722	218,591	△ 8,869	1,168,000	5市2町 計

(静岡県統計情報)

※ H22 国調ベース推計人口…H22 国勢調査時の人口をベースとし、その後の住基人口の増減を反映させた人口

③ 年齢3区分別将来推計人口の推移

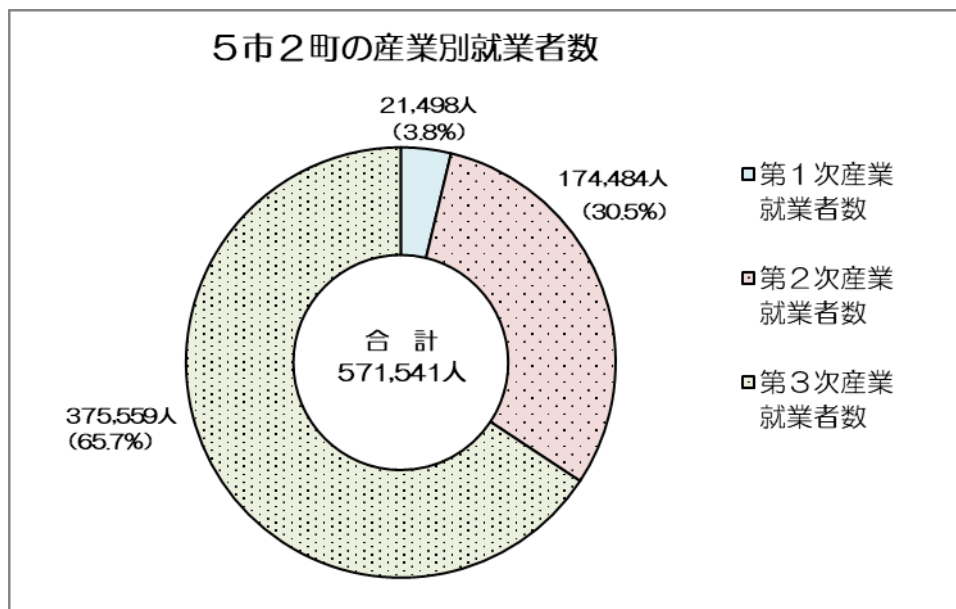


	2000年	2005年	2010年	2020年	2025年	2040年	2060年
年少人口	177,015人 15%	164,693人 14%	156,569人 13%	132,258人 12%	118,737人 11%	94,634人 10%	79,914人 10%
生産年齢人口	810,134人 67%	779,162人 65%	736,222人 62%	650,954人 57%	622,597人 57%	497,054人 53%	396,461人 51%
老年人口	217,166人 18%	254,436人 21%	290,776人 25%	348,825人 31%	349,910人 32%	351,489人 37%	301,607人 39%
その他	275人 0%	391人 0%	4,602人 0%	- 0%	- 0%	- 0%	- 0%
計	1,204,590人	1,198,682人	1,188,169人	1,132,037人	1,091,244人	943,177人	777,982人

(各市町人口ビジョン)

(2) 雇用・産業

① 産業別就業者数



市町名	第1次産業		第2次産業		第3次産業	
	就業者数(人)	割合(%)	就業者数(人)	割合(%)	就業者数(人)	割合(%)
静岡市	9,054	2.7%	88,388	26.3%	238,357	71.0%
島田市	3,338	6.6%	18,589	36.7%	28,705	56.7%
焼津市	2,063	3.0%	25,386	36.7%	41,766	60.3%
藤枝市	2,583	3.6%	23,419	33.0%	45,096	63.4%
牧之原市	3,366	13.2%	10,076	39.5%	12,050	47.3%
吉田町	581	3.7%	7,412	47.5%	7,607	48.8%
川根本町	513	13.8%	1,214	32.8%	1,978	53.4%
計	21,498	3.8%	174,484	30.5%	375,559	65.7%

(平成 27 年国勢調査)

② 事業所数

市町名	H21 事業所数	H26 事業所数	H26－H21 増減
静岡市	41,692	38,191	-3,501
島田市	4,984	4,591	-393
焼津市	7,398	6,663	-735
藤枝市	6,910	6,320	-590
牧之原市	2,890	2,665	-225
吉田町	1,463	1,341	-122
川根本町	626	496	-130
計	65,963	60,267	-5,696

(平成 26 年経済センサス基礎調査)

③ 就業者数

市町名	H21 就業者数	H26 就業者数	H26－H21 増減
静岡市	385,943 人	372,917 人	-13,026 人
島田市	44,536 人	41,816 人	-2,720 人
焼津市	68,304 人	64,179 人	-4,125 人
藤枝市	61,663 人	60,759 人	-904 人
牧之原市	28,702 人	26,896 人	-1,806 人
吉田町	17,142 人	17,091 人	-51 人
川根本町	4,339 人	3,427 人	-912 人
計	610,629 人	587,085 人	-23,544 人

(平成 26 年経済センサス基礎調査)



水揚げ金額全国 1 位の焼津漁港



圏域を代表する特産品 お茶

7 圏域が目指す将来像（都市圏像）

『海・山・街道を活かした多極連携・交流都市圏』

～日本の中心！ 住みたいまち 訪れたいまち 活力あふれる豊かな圏域を目指して～

静岡県中部に位置する5市2町は、豊かな自然に恵まれ、全国的にも高いブランド価値を誇る特産物、それらを活かした関連産業、交通基盤のストックにより、圏域内に留まらず、圏域外との人の交流も活発に行われています。

こうした多くの恵まれた環境の下、5市2町が連携、協力することは、それぞれが持つ力の総和以上の総合力の発揮へとつながります。

圏域内の各市町は、それぞれの歴史や文化を受け継ぎ、異なった個性を有し自立した自治体経営を行っていることから、そうした多様性を活かすとともに、相互に補完し、高め合い、それらを輝かせることを通じて、それぞれの市町が主役となって、メリットを実感できる連携を深めていきます。

そこで、この圏域が目指す将来像（都市圏像）を『海・山・街道を活かした多極連携・交流都市圏』～日本の中心！ 住みたいまち 訪れたいまち 活力あふれる豊かな圏域を目指して～とし、将来目標人口＜中期目標 2025 年 115 万人、長期目標 2060 年 100 万人（2010 年の圏域人口 118 万人）＞の達成に向けて、連携事業の推進を図っていきます。

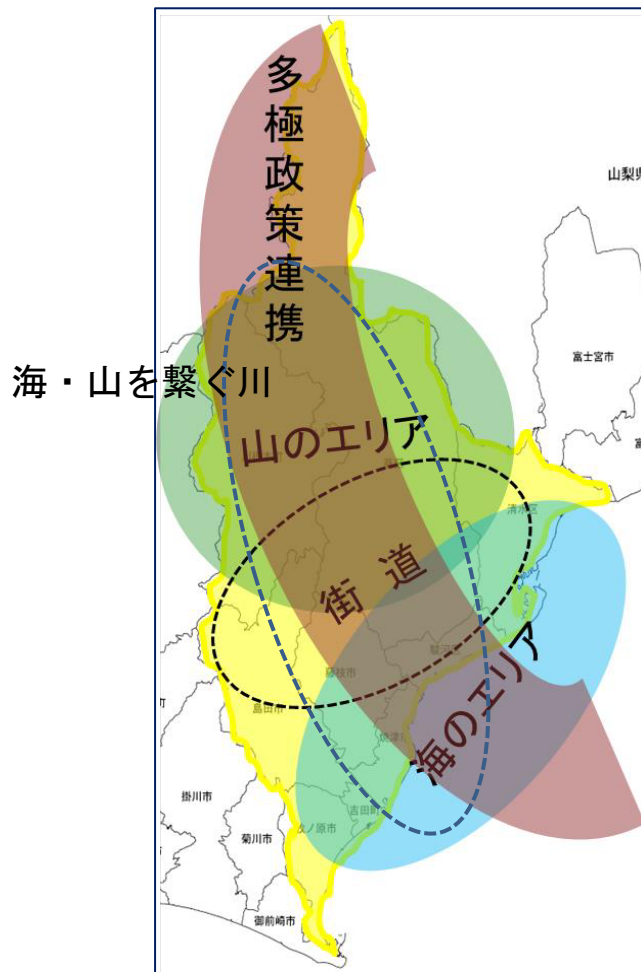
また、以下のとおり、連携事業を貫く4つのスローガンを掲げます。

連携事業を貫く4つのスローガン

1	圏域全体で 果敢に 「人口減少」に 立ち向かう
2	圏域全体が 総力で 「稼げる」 地域になる
3	圏域全体が 強靱で 「安心・安全」な 地域になる
4	圏域全体が 快適で 「暮らしの充実」した 地域になる

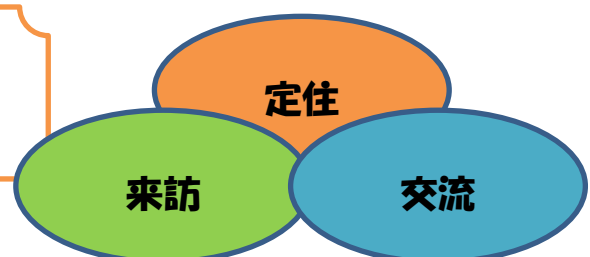
この圏域では、沿岸部においては駿河湾、水産物などの地域資源を軸に、また、内陸部においては旧東海道やお茶などのまちの魅力、そして中山間地域の豊かな自然を複合的に活かす連携を進めることにより、第1次、第2次、第3次産業の枠を超えた活性化を図り、更なる魅力の向上が期待されます。

5市2町全体で取り組む事業に加え、海や山、それを繋ぐ川。その周辺に人々が集まり産業が生まれ街道の歴史が培われてきた地域の深い繋がりを、**多極政策連携**と位置づけ、多様な枠組みによる連携事業を展開していきます。



また、効果的な施策を展開することにより、圏域全体の活力向上に繋げていくことに加えて、この圏域内の「**交流**」、圏域外の首都圏や海外からの「**来訪**」を活発化させることで、圏域全体の「**定住**」人口の増加に結び付けていきます。

効果的な施策の展開と発信により
圏域全体の活力アップ



分野別の『目指す都市圏像』

圏域が目指す将来像（都市圏像）の実現に向けて、「経済」、「文化」、「防災」、「くらし」の4つの分野に分け、分野ごとの目指す都市圏像を位置づけ、政策を体系化します。

分 野

分野別の『目指す都市圏像』

経 済

多彩な産業で活気があり、都市の利便性を実感できる中枢都市圏

文 化

歴史・スポーツ・食をはじめとした特色ある文化都市圏

防 災

災害に強く、安心・安全に暮らせる防災都市圏

くらし

自然環境を大切にし、その恵みを享受しながら快適性を高める環境共生都市圏

8 計画の体系

圏域が目指す将来像（都市圏像）

『海・山・街道を活かした多極連携・交流都市圏』

～日本の中心！住みたいまち 訪れたいまち 活力あふれる豊かな圏域を目指して～

分 野

分野別の『目指す都市圏像』

経 済

多彩な産業で活気があり、都市の利便性を実感できる 中枢都市圏

文 化

歴史・スポーツ・食をはじめとした特色ある 文化都市圏

防 災

災害に強く、安心・安全に暮らせる 防災都市圏

くらし

自然環境を大切にし、その恵みを享受しながら快適性を高める 環境共生都市圏

圏域の将来目標人口 <2010 年の圏域人口 118 万人>

中期目標 : 2025 年の圏域人口 115 万人

長期目標 : 2060 年の圏域人口 100 万人

取組の3つの柱

主な連携事業

3つの柱の基本目標

圏域全体の
経済成長のけん引

首都圏へのアンテナショップ開設事業
海外展開・対日投資促進事業
地域連携 DMO 推進事業
大井川流域ニューツーリズムの推進事業

観光交流客数
2021 年 4,236 万人
(2015 年 3,659 万人)

高次の都市機能の
集積・強化

鉄道駅交通結節点改善事業
東名新インターチェンジ整備事業

中心市街地の歩行者
通行量
(静岡市中心市街)
2021 年 131,545 人
(2014 年 131,545 人)

圏域全体の
生活関連サービスの向上

移住促進事業
出会い結婚サポート事業
大学連携事業

圏域人口社会動態
2021 年 1,325 人
(2014 年 △2,118 人)

9 実施計画

I 圏域全体の経済成長のけん引

産学金官一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備	1	計画の推進・進捗管理
産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	2	起業・創業支援情報発信サイトの運用事業
	3	起業・創業支援事業
	4	海洋産業クラスター創造事業
地域資源を活かした地域経済の裾野拡大	5	アンテナショップ開設事業
	6	海外展開・対日投資促進事業
	7	水産物を活用した産業活性化事業
	8	お茶を活用したシティープロモーション推進事業
戦略的な観光施策	9	静岡地域連携DMO推進事業
	10	体験観光推進事業
	11	外客誘致推進事業
	12	客船誘致事業
	13	観光イベント支援事業
	14	大井川流域ニューツーリズム推進事業
	15	山の散策・ハイキングコース整備事業
	16	街道文化発信事業
	17	静岡中部地域サイクルツーリズム推進事業
	18	来訪交流人口拡大事業

II 高次の都市機能の集積・強化

高度な医療サービスの提供	19	感染症患者への対応(第一種感染症指定医療機関)
高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	20	鉄道駅交通結節点改善事業
	21	東名新インターチェンジ整備事業
高等教育・研究開発の環境整備	22	高等教育のあり方検討推進事業
	23	海洋産業クラスター創造事業(再掲)

Ⅲ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

生活機能の強化	地域医療分野	24	若年性認知症フォーラム開催事業
	介護・福祉・結婚・子育て支援分野	25	出会い結婚サポート事業
		26	生活困窮世帯等子どもの学習・生活支援事業
		27	障がいに対する啓発・広報活動の推進事業
		28	子育て支援事業
	教育・文化・スポーツ分野	29	サイエンスキッズ育成事業
		30	大学連携事業
		31	図書館サービス利用の拡大事業
		32	するが文学三館めぐり事業
	地域振興分野	33	JR駅前等賑わい創出事業
		34	女性の活躍促進事業
		35	多文化共生推進事業
		36	中部5市2町広域連携PR事業
	災害対策分野	37	災害対策のための相互協力事業
		38	火災調査の広域支援事業
	環境分野	39	水環境の保全事業
		40	地球温暖化対策の推進(環境教育の推進)
結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	地域交通インフラ分野	41	都市間交通の利便性向上事業
	ICTインフラ整備分野	42	公衆無線LAN整備事業
	地域内外の住民との交流・移住促進分野	43	移住促進事業
		44	静岡市移住支援センター運営事業
		45	Uターンシステム強化事業
		46	テレワーク推進事業
		47	中部5市2町イベントニュース発行事業
圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	圏域の自立を担う人材・団体の育成	48	生涯学習推進事業(「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業)
	外部人材の活用による圏域の活性化	49	人材マッチング推進事業
	自治体職員の育成	50	圏域内市町職員の人事交流
		51	合同人材育成研修会の開催

I 圏域全体の経済成長のけん引

基本目標	基準値	現状値	目標値
観光交流客数	3,659 万人（2015 年）	3,638 万人（2017 年）	4,236 万人（2021 年）

1 産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備

産学金官民一体となった協議会の運営、圏域の経済戦略の策定、推進、進捗管理等を通じて、経済成長を図る。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	2018 年目標値	現状値	2019 年目標値
ビジョン懇談会の開催	2 回（2016 年）	2 回	1 回（2018 年）	2 回

1	事業名	計画の推進・進捗管理					
関係市町		全市町					
事業概要		連携協約に基づき、具体的取組を推進するとともに、連携中枢都市圏ビジョンの進捗管理を行う。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
1	(1)						
事業費（千円）			300	240	280		
役割分担の考え方		連携中枢都市圏ビジョンの進捗管理のため、関係会議の運営、データの分析等を協力して行い、各事業の評価と見直し等に取り組む。					
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

2 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

戦略産業の育成に向け、人材育成や企業等の支援、起業創業支援、産学金官のコーディネート等を行う。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	2018 年目標値	現状値	2019 年目標値
相談件数（産学交流センター、産業・情報プラザ）	520 件 (2015 年)	540 件	560 件 (2018 年)	540 件
（内、創業に関する相談件数）	232 件 (2015 年-2017 年平均)	—	—	270 件

2	事業名	起業・創業支援情報発信サイトの運用事業					
関係市町		全市町					
事業概要		中部5市2町の専用サイト「起業創業.com」を活用し、各市町の起業創業支援情報（セミナーやイベント、制度のお知らせなど）を一元的に発信する。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
1	(2)						
事業費（千円）			22	22	22		
役割分担の考え方		静岡市がサイトの運営を行い、その他の関係市町は起業・創業支援に関する情報登録等を実施する。					
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

3	事業名	起業・創業支援事業					
関係市町		全市町					
事業概要		圏域の起業・創業者・中小企業者を支援するため、静岡市産学交流センター及び清水産業・情報プラザにおいてセミナーの開催や各種相談業務を行う。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
1	(2)						
事業費（千円）			198,753	169,910	174,485		
役割分担の考え方		静岡市が静岡市産学交流センター及び清水産業・情報プラザにおいてサービスを提供する。その他の関係市町は企業への広報・周知や企業情報の収集等、本事業の推進に協力する。					
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

4	事業名	海洋産業クラスター創造事業					
関係市町		静岡市、焼津市					
事業概要		静岡市・焼津市における海洋・水産分野のイノベーションハブを構築するため、両市の大学、国県等の研究機関と企業が連携し、海洋産業クラスターを創造する。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
1	(2)						
事業費（千円）			77,904	61,500	18,300		
役割分担の考え方		静岡市が中心となって実施し、必要に応じて焼津市との協議により決定する。					
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議し焼津市が負担する。					

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

3 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

地域資源のブランド化、活用による情報発信、商品・サービス開発、販路開拓を通じて地域経済の活性化を推進する。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	2018 年目標値	現状値	2019 年目標値
商談成約件数	7 社（2015 年）	8 社	13 社（18 件） （2018 年）	12 社
海外企業経営者受入件数	200 人（2016 年）	300 人	499 人（2017 年）	300 人
販路拡大・投資受入 マッチング企業数	1 社（2016 年）	新規 2 社	1 社（2017 年）	新規 2 社

5	事業名	アンテナショップ開設事業					
関係市町		全市町					
事業概要		圏域の PR や地場産品等の販路拡大を図るため、首都圏にアンテナショップを開設する。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
1	(3)						
事業費（千円）			87,500	188,000	259,500		
役割分担の考え方		静岡市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

6	事業名	海外展開・対日投資促進事業					
関係市町		全市町					
事業概要		中国をはじめとした海外からの投資と圏域内企業とのマッチングや情報収集・発信を行う。また、海外企業の経営者層の国内企業視察、経営管理者の研修事業の受入を行う。 圏域内の中小企業と海外に販路を有する国内商社との商談会を行う。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
1	(3)						
事業費（千円）			12,389	14,389	8,349		
役割分担の考え方		静岡市、牧之原市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

7	事業名	水産物を活用した産業活性化事業					
関係市町		静岡市、焼津市、牧之原市、吉田町					
事業概要		圏域内の沿岸部3市1町（静岡市、焼津市、吉田町、牧之原市）に御前崎市を加えた枠組みにより、駿河湾中西部に観光誘客を図るため、同エリアを「駿河ブルーライン」の愛称で呼ぶとともに、「駿河ブルーライン」ブランドとして開発した商品、メニュー、観光コースの圏域内外へのプロモーションを実施する。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
1	(3)						
事業費（千円）			2,707	2,720	2,720		
役割分担の考え方			取組む事業ごとに事務局を務める市町を決め、事務局が中心となり、他市町と協力して業務を進める。				
費用分担の考え方			原則として静岡市が負担する（御前崎市分を除く）。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

8	事業名	お茶を活用したシティプロモーション推進事業					
関係市町		静岡市・島田市・藤枝市・牧之原市・川根本町					
事業概要		シティプロモーションの戦略資源の一つであるお茶に関する様々な情報を発信する。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
1	(3)						
事業費（千円）			5,089	5,752	7,260		
役割分担の考え方		静岡市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

4 戦略的な観光施策

観光資源を活用した広域観光ルートの造成やプロモーション、国内外観光客の受入環境整備の推進などを通じて、観光施策に戦略的に取り組む。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	2018 年目標値	現状値	2019 年目標値
ニューツーリズムイベント参加者数 （SL フェスタ・トマスフェア）	130,056 人 （2015 年）	140,000 人	100,016 人 （2017 年）	140,000 人

9	事業名	静岡地域連携 DMO 推進事業				
関係市町		全市町				
事業概要		圏域で、（公財）するが企画観光局を中心に次の事業を実施する。 1 観光目的地としてのブランドプロモーション 2 Learn（学び）、Tea（茶）、Sea（海）の戦略に基づく商品開発 3 市場調査・効果測定				
連携協約		年度	2017 年 （H29）	2018 年 （H30）	2019 年 （H31）	2020 年
1	（4）					2021 年
事業費（千円）			55,000	151,000	151,000	→
役割分担の考え方		するが企画観光局が中心となって事業を実施し、必要に応じて関係市町が協力する。				
費用分担の考え方		原則として全市町が負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

10	事業名	体験観光推進事業				
関係市町		全市町				
事業概要		圏域の地域資源を有効活用するため、国内はもとよりアジアなどからの体験観光や教育旅行について、中部5市2町を一つの観光圏として、一体となって誘致・推進事業を行う。 おもてなしコンシェルジュの案内業務を中部5市2町の範囲に拡大し、圏域内への周遊を促す。				
連携協約		年度	2017 年 （H29）	2018 年 （H30）	2019 年 （H31）	2020 年
1	（4）					2021 年
事業費（千円）			6,816	9,616	10,316	→
役割分担の考え方		静岡市及び藤枝市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町と協議により決定する。				
費用分担の考え方		原則として、静岡市及び藤枝市が負担する。必要に応じてその他の関係市町と協議により決定する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

1 1	事業名	外客誘致推進事業					
関係市町		全市町					
事業概要		静岡市の海外プロモーションの機会において、中部5市2町のパンフレット、チラシ等を配付するなど、プロモーション機会の拡大を図る。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
1	(4)						
事業費（千円）			2,175	1,659	547		
役割分担の考え方		静岡市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町と協議により決定する。					
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

1 2		事業名		客船誘致事業			
関係市町				全市町			
事業概要				御前崎港に客船等の入港を誘致することにより、圏域への観光交流客数の増加を図り、地域の観光振興や地域の活性化につなげる。			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
1	(4)						
事業費（千円）					6,000		
役割分担の考え方			牧之原市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町と協議により決定する。				
費用分担の考え方			原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

1 3		事業名		観光イベント支援事業				
関係市町				全市町				
事業概要				観光資源を活用したイベントを連携して開催する。 多様な交流を喚起し、圏域の活性化を図るため、圏域の宣伝につながる大規模イベントに対して補助金等を交付する。				
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年	
1	(4)							
事業費（千円）			13,878	12,878	10,808			
役割分担の考え方			吉田町が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方			原則として吉田町が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

1 4	事業名	大井川流域ニューツーリズム推進事業					
関係市町		全市町					
事業概要		SL や南アルプスアプトライン、トーマス号などの運行により、高い集客力を持つ大井川鐵道を軸に、周辺における食・体験・自然・癒しなどの地域資源を活用したニューツーリズムを連携して推進する。「SL フェスタ」や「トーマスフェア」といったイベントを活用し、井川地区を含め大井川流域全体の回遊促進を図る。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
1	(4)						
事業費（千円）			39,000	36,220	29,000		
役割分担の考え方		島田市及び川根本町が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方		原則として静岡市、島田市及び川根本町が負担する。必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。					

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

15	事業名	山の散策・ハイキングコース整備事業				
関係市町		全市町				
事業概要		静岡市と焼津市を結ぶハイキングコースである満観峰コースに関するニーズ調査結果を踏まえ、休憩箇所やハイキングコース等の整備を実施する。				
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年
1	(4)					2021 年
事業費（千円）			9,581	2,726	14,965	→
役割分担の考え方		焼津市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。				
費用分担の考え方		原則として焼津市が負担する。必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

16	事業名	街道文化発信事業				
関係市町		全市町				
事業概要		東海道を中心とした歴史・文化の発信 イベント実施団体のネットワーク化を図り、街道や宿場等をテーマとした回遊できるイベント等を連携して開催する。 また、東海道を中心とした歴史・文化資源の魅力を発信する。				
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年
1	(4)					2021 年
事業費（千円）			12,000	20,820	16,100	→
役割分担の考え方		静岡市、島田市及び藤枝市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。				
費用分担の考え方		原則として静岡市及び藤枝市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

17	事業名	静岡中部地域サイクルツーリズム推進事業					
関係市町		全市町					
事業概要		中部地域のサイクルツーリズムを推進するため、基礎調査結果を踏まえ、モデルコースの設定、サイクルマップの作成、情報発信及び受け入れ態勢の整備を行う。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
1	(4)						
事業費（千円）			—	2,300	5,000		
役割分担の考え方		静岡市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

18	事業名	来訪交流人口拡大事業					
関係市町		全市町					
事業概要		富士山静岡空港と藤枝駅を結ぶ空港アクセスバスを運行する。 バス車内において、ポスターや液晶モニターにより、圏域の商業、観光、施設情報やイベント等のPRを行う。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
1	(4)						
事業費（千円）			—	37,000	20,460	→	
役割分担の考え方		藤枝市がアクセスバスの運行を行う。関係市町は、車内に掲載する情報を提供する。					
費用分担の考え方		原則として藤枝市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

Ⅱ 高次の都市機能の集積・強化

基本目標	基準値	現状値	目標値
中心市街地の歩行者通行量 (静岡市中心市街地)	131,545 人 (2014 年)	133,264 人 (2017 年)	131,545 人 (2021 年)

1 高度な医療サービスの提供

広域的な救急医療体制のほか、先進医療の充実など、医療サービスを安定的に提供できる体制の構築と医療の質の向上などに取り組む。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	2018 年目標値	現状値	2019 年目標値
第一種感染症指定医療機関	1 施設 (2016 年)	1 施設	1 施設 (2018 年)	1 施設

19		事業名	感染症患者への対応（第一種感染症指定医療機関）				
関係市町			全市町				
事業概要			静岡県中部5市2町を含む静岡県内で感染症患者（一類・二類）が発生した場合、第一種感染症指定医療機関である地方独立行政法人静岡市立静岡病院で入院治療を行う。				
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
2	(1)						
事業費（千円）			—	—	—		
役割分担の考え方			原則として静岡市が実施する。				
費用分担の考え方			原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

2 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

集客・交流拠点の整備・活用、広域的交通網の活用等による圏域の魅力の創出に取り組む。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	2018 年目標値	現状値	2019 年目標値
JR 静岡駅乗降者数	2,114 万人 (2014 年)	2,220 万人	2,168 万人 (2016 年)	2,220 万人

20		事業名		鉄道駅交通結節点改善事業			
関係市町				全市町			
事業概要				圏域内交通の利便性（通勤・通学など）を高めるため、駅周辺の整備を行う。 静岡駅周辺整備事業、草薙駅周辺整備事業 等			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
2	(2)						
事業費（千円）			1,238,826	314,079	5,500		
役割分担の考え方			原則として静岡市が実施する。				
費用分担の考え方			原則として静岡市が負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

2 1		事業名		東名新インターチェンジ整備事業			
関係市町				全市町			
事業概要				日本平や三保松原などの観光地や周辺の産業集積地区へのアクセスを向上させることにより、観光連携や雇用創出による圏域全体の発展・活性化を図るため、日本平久能山スマートインターチェンジ等の整備を行う。2019 年秋供用開始予定。			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
2	(2)						
事業費（千円）			1,221,731	10,000	27,900		
役割分担の考え方			原則として静岡市が実施する。				
費用分担の考え方			原則として静岡市が負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

3 高等教育・研究開発の環境整備

圏域の企業等のニーズに応じられるとともに、地域の未来を担う人材を育成する高等教育環境、企業と連携したキャリア教育や学び直しの場の整備などに取り組む。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	2018 年目標値	現状値	2019 年目標値
大学生の地域就職率	45.0%（2014 年）	53.0%	46.5%（2017 年）	55.0%

2 2	事業名	高等教育のあり方検討推進事業				
関係市町		全市町				
事業概要		圏域の地域振興、地方創生、産業振興の礎として、圏域の次世代を担う人材を地域の中で育むため、高等教育のあり方についての検討を連携して行う。				
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年
2	(3)					2021 年
事業費（千円）			3,076	3,093	5,939	→
役割分担の考え方		静岡市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。				
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

2 3	事業名	海洋産業クラスター創造事業（再掲）				
関係市町		静岡市・焼津市				
事業概要		静岡市・焼津市における海洋・水産分野のイノベーションハブを構築するため、両市の大学、国県等の研究機関と企業が連携し、海洋産業クラスターを創造する。				
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年
2	(3)					2021 年
事業費（千円）			77,904	61,500	18,300	→
役割分担の考え方		静岡市が中心となって実施し、必要に応じて焼津市との協議により決定する。				
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議し焼津市が負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

Ⅲ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

基本目標	基準値	現状値	目標値
人口社会増減数 (転入者－転出者)	△2,118 人 (2014 年)	△194 人 (2017 年)	1,325 人 (2021 年)

1 生活機能の強化

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	2018 年目標値	現状値	2019 年目標値
結婚支援イベントカップル成立率	—	28.0%	32.4% (2018 年)	31.3%
サイエンスキッズイベント参加者数	—	1,900 人	2,858 人 (2018 年)	2,500 人
大学連携課題解決研究件数	22 件 (2016 年) 静岡市・焼津市	20 件	25 件 (2018 年)	23 件
地球温暖化対策国民運動 「COOL CHOICE」賛同者数	600 人 (2016 年)	1,000 人	916 人 (2018 年)	1,000 人

(1) 地域医療分野

病診連携の一層の推進や広域自治体との連携による地域医療支援病院の体制強化などの地域医療の強化に取り組む

2 4	事業名	若年性認知症フォーラム開催事業					
関係市町		全市町					
事業概要		若年性認知症のご本人やご家族を支援するため、圏域の若年性認知症への理解を深めるフォーラムを開催する。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(1)						
事業費（千円）			220	123	252		
役割分担の考え方		静岡市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

(注) 事業費については、毎年度の予算により定める。

(2) 介護・福祉、結婚・子育て支援分野

地域包括ケアの推進による在宅医療・介護の推進、障がい者を地域で受け入れる共生社会の推進、結婚・子育てを応援する地域づくりなどに取り組む

25	事業名	出会い結婚サポート事業					
関係市町		全市町					
事業概要		未婚男女の出会いの場を創出するイベントを行う。また、結婚への意識を醸成するセミナー等を開催する。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(1)						
事業費（千円）			14,599	10,900	10,000		
役割分担の考え方		静岡市、焼津市及び藤枝市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方		原則として静岡市、焼津市及び藤枝市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

(注) 事業費については、毎年度の予算により定める。

26	事業名	生活困窮世帯等子どもの学習・生活支援事業					
関係市町		全市町					
事業概要		静岡市で実施するひとり親世帯及び生活困窮世帯に対する集合形式での学習支援及び生活困窮世帯の親に対する啓発事業のノウハウの提供や情報共有を行う。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(1)						
事業費（千円）			19,706	19,706	27,459		
役割分担の考え方		静岡市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

(注) 事業費については、毎年度の予算により定める。

27		事業名		障がいに対する啓発・広報活動の推進事業				
関係市町				全市町				
事業概要				障がいのある人となない人相互について、圏域での理解と認識を深めるとともに、障がいのある人の社会参加の促進と福祉の向上を図るための事業を圏域で連携して実施する。				
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年	
3	(1)							
事業費（千円）			1,400	5,500	1,400			
役割分担の考え方			静岡市にて企画立案し、連携市町と協力して圏域内の施設・団体等に周知及び調整を実施する。					
費用分担の考え方			原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

28		事業名		子育て支援事業				
関係市町				全市町				
事業概要				子育て支援施設の利用者を市内在住に限らず、圏域住民の利用を促し、子供の健全育成や子育てをする保護者の支援、様々な世代の交流の拡大を図る。				
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年	
3	(1)							
事業費（千円）			—	35,430	43,970			
役割分担の考え方			藤枝市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町と協議により決定する。					
費用分担の考え方			原則として藤枝市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

(3) 教育・文化・スポーツ分野

文化・スポーツ振興及びこれらを通じた交流人口の拡大と地域振興を図るほか、社会教育施設等の相互利用の拡大推進、大学等教育機関との連携による生涯教育の推進などに取り組む。

29		事業名		サイエンスキッズ育成事業			
関係市町				全市町			
事業概要				圏域内の子どもに対し、科学イベントを実施し、子ども達が科学に関心を持つきっかけとなるよう、サイエンスショーやサイエンスフェスティバルを実施する。			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(1)						
事業費（千円）			8,000	9,000	9,000		
役割分担の考え方			静岡市及び藤枝市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。				
費用分担の考え方			原則として静岡市及び藤枝市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。				

(注) 事業費については、毎年度の予算により定める。

30	事業名	大学連携事業					
関係市町		全市町					
事業概要		圏域が抱える地域課題について、圏域にある大学が、地域と一体となって解決策の提言や課題解決のための実践的な事業を実施する。 大学の地域課題解決に取り組む活動拠点を確保し、大学と連携し圏域の住民等を対象とした講座やセミナー等を開催する。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(1)						
事業費（千円）			25,600	27,100	28,950		
役割分担の考え方		静岡市、焼津市及び藤枝市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町と協議により決定する。					
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

(注) 事業費については、毎年度の予算により定める。

3 1	事業名	図書館サービス利用の拡大事業				
関係市町		全市町				
事業概要		圏域内に居住する人に対し、図書館カードを発行し、館外貸出しや予約受付などの図書館サービスを提供する。				
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年
3	(1)					2021 年
事業費（千円）			—	5	5	→
役割分担の考え方		関係市町がそれぞれ同等のサービスを実施する。				
費用分担の考え方		関係市町がそれぞれ負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

3 2	事業名	するが文学三館めぐり事業				
関係市町		静岡市、焼津市、藤枝市				
事業概要		中勘助文学記念館（静岡市）、藤枝市文学館（藤枝市）、焼津小泉八雲記念館（焼津市）のそれぞれを発着点に貸し切りバスで各記念館等をめぐるツアーを同日開催し、各館を施設見学する。				
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年
3	(1)					2021 年
事業費（千円）			—	671	667	→
役割分担の考え方		静岡市、焼津市及び藤枝市が中心となって実施し、必要に応じて関係市町との協議により決定する。				
費用分担の考え方		原則として静岡市、焼津市及び藤枝市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

(4) 地域振興分野

地域資源の活用による地域産業の振興と、雇用の創出、企業創業の促進、広域的な起業誘致、大学等による地域課題研究の取組などを通じて地域の振興に取り組む。

3 3		事業名		JR 駅前等賑わい創出事業			
関係市町				静岡市、島田市、焼津市、藤枝市			
事業概要				観光客が減少する冬季の交流人口を拡大するため、JR 駅前等のイルミネーション整備を含む賑わい創出イベントを実施する。			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(1)						
事業費（千円）			48,000	67,600	73,400		
役割分担の考え方			静岡市、島田市、焼津市及び藤枝市が実施する。				
費用分担の考え方			原則として静岡市及び藤枝市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。				

(注) 事業費については、毎年度の予算により定める。

3 4		事業名		女性の活躍促進事業			
関係市町				全市町			
事業概要				女性活躍の気運醸成のためのセミナーの開催や、情報発信を行うことで、女性の職業生活における活躍を推進する。			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(1)						
事業費（千円）			4,791	2,276	430		
役割分担の考え方			静岡市及び藤枝市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。				
費用分担の考え方			原則として静岡市及び藤枝市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。				

(注) 事業費については、毎年度の予算により定める。

3 5		事業名		多文化共生推進事業			
関係市町				全市町			
事業概要				多様な文化を尊重し、理解する意識の向上を目的とする多文化共生啓発事業を実施し、圏域で周知を図り、参加を促す。			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(1)						
事業費（千円）			1,540	1,494	1,494		
役割分担の考え方			静岡市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。				
費用分担の考え方			原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

3 6		事業名		中部 5 市 2 町広域連携 PR 事業			
関係市町				全市町			
事業概要				しずおか中部連携中枢都市圏の PR 事業を実施する。 圏域で開催するイベントにて統一デザインの販促物を活用し、ブ ース出展等による PR 効果を高める。			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(1)						
事業費（千円）			3,200	50	454		
役割分担の考え方			静岡市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との 協議により決定する。				
費用分担の考え方			原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市 町が負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

(5) 災害対策分野

災害・減災対策の推進・強化などに取り組む。

3 7		事業名		災害対策のための相互協力事業			
関係市町				全市町			
事業概要				「大規模災害に係る相互援助の実施等に関する協定」に基づき、圏域内の情報共有などを通じ、相互援助の実施に関する連携を強化することで、地域防災力の向上を図る。			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(1)						
事業費（千円）			—	—	—		
役割分担の考え方			関係市町と協議により決定する。				
費用分担の考え方			必要に応じて関係市町と協議し決定する。				

(注) 事業費については、毎年度の予算により定める。

38		事業名		火災調査の広域支援事業			
関係市町				全市町			
事業概要				静岡市消防局が保有する鑑識・鑑定資機材を活用し、圏域内で発生した火災のうち要請のあるものについて技術支援を行う。 静岡市消防局が行う火災調査研修・事例発表等に圏域内職員を受け入れ、技術向上を図る。			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(1)						
事業費（千円）			—	—	—		
役割分担の考え方			静岡市が鑑識・鑑定を実施し、その他の関係市町と必要に応じて予防啓発活動を協力して実施する。				
費用分担の考え方			必要に応じて関係市町と協議し決定する。				

(注) 事業費については、毎年度の予算により定める。

(6) 環境分野

豊かで多様な環境を将来の世代へ継承し、持続可能な社会を実現するため、自然環境の保全、地球温暖化対策の推進、ごみの減量・資源化などに取り組む。

39		事業名		水環境の保全事業			
関係市町				全市町			
事業概要				リニア中央新幹線工事による大井川の水資源への影響について、相互に持つ情報交換を行い、保全について連携した取組を検討する。			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(1)						
事業費（千円）			—	—	—		
役割分担の考え方			関係市町と協議により決定する。				
費用分担の考え方			必要に応じて関係市町と協議し決定する。				

(注) 事業費については、毎年度の予算により定める。

4 0		事業名		地球温暖化対策の推進（環境教育の推進）			
関係市町				全市町			
事業概要				圏域において家庭内での省エネルギー対策の定着化を進め、さらに再生可能エネルギーや水素エネルギーを活用した総合的な啓発活動を実施し、地球温暖化対策について広く市民・町民に啓発する。			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(1)						
事業費（千円）			1,500	1,200	1,228		
役割分担の考え方			静岡市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。				
費用分担の考え方			原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。				

(注) 事業費については、毎年度の予算により定める。

2 結びつきやネットワークの強化

重要業績評価指標（KPI）	基準値	2018 年目標値	現状値	2019 年目標値
移住イベント出展時 相談組数	48 組（2016 年） 静岡市単独	80 組	118 組（2018 年）	80 組
バス停等上屋等整備箇所数	3 か所（2017 年）	3 か所	3 か所（2018 年）	2 か所
e ラーニング講座受講者数	—	—	—	200 人

（1）地域交通インフラ分野

地域住民の移動手段の確保及び利便性の向上、まちの賑わい創出、人の交流の促進などを図るため、地域公共交通ネットワークの維持・強化に取り組む。

4 1	事業名	都市間交通の利便性向上事業					
関係市町		全市町					
事業概要		牧之原市、吉田町、静岡市を結ぶ特急静岡相良線のバス停等の利用環境を向上させ、通勤、通学及び観光に係る利便性向上を図る。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(2)						
事業費（千円）			16,000	14,000	8,000		
役割分担の考え方		牧之原市及び吉田町が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

(2) ICT インフラ整備分野

国内外からの観光客誘致などにつながる Wi-Fi 環境の整備推進などに取り組む。

4 2 - 1		事業名		公衆無線 LAN 整備事業（静岡市分）			
関係市町				全市町			
事業概要				広域的な観光施策を生かし、回遊性の向上に資する為、事業のサービス名、ポータルサイトを共同利用し、官民連携して公衆無線 LAN アクセスポイントの整備を推進するための啓発活動を行う。			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(2)						
事業費（千円）			5,299	990	995		
役割分担の考え方			静岡市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。				
費用分担の考え方			原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

4 2 - 2		事業名		公衆無線 LAN 整備事業（吉田町分）			
関係市町				全市町			
事業概要				圏域の観光施設等のW i - F i 環境を整備し、W i - F i を活用した観光客の流れがわかる「オープンW i - F i」を活用することにより、圏域市町の観光客の流れを分析し、観光戦略に活かす。			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(2)						
事業費（千円）			—	—	6,000		
役割分担の考え方			吉田町が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。				
費用分担の考え方			原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。				

(3) 地域内外の住人との交流・移住促進分野

大都市圏からの移住定住の促進及び交流人口の拡大を図るため、圏域の魅力を発信するとともに、企業の人材確保とUJターンにつながるための圏域企業の情報発信などに取り組む。

4 3	事業名	移住促進事業				
関係市町		全市町				
事業概要		圏域への移住促進を図るため、首都圏等で開催される移住イベントへ圏域で合同出展する。				
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年
3	(2)					2021 年
事業費（千円）			2,100	2,100	2,547	→
役割分担の考え方		静岡市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。				
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。				

(注) 事業費については、毎年度の予算により定める。

4 4	事業名	静岡市移住支援センター運営事業				
関係市町		全市町				
事業概要		東京都有楽町の「静岡市移住支援センター」にて移住相談を行うなど、主に首都圏在住者を対象とした移住のサポートを行う。				
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年
3	(2)					2021 年
事業費（千円）			18,137	18,186	18,372	→
役割分担の考え方		静岡市が中心となって実施し、必要に応じて関係市町との協議により決定する。				
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。				

(注) 事業費については、毎年度の予算により定める。

4 5		事業名		UI ターン推進事業			
関係市町				静岡市・焼津市			
事業概要				移住・定住人口の増加を目的とし、首都圏に進学及び就職している圏域の出身者等に圏域の魅力や就職情報等を発信し、UI ターンを推進する。			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(2)						
事業費（千円）			7,938	4,427	758		
役割分担の考え方			焼津市が中心となって実施し、必要に応じて静岡市との協議により決定する。				
費用分担の考え方			原則として焼津市が負担する。必要に応じて協議し静岡市が負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

4 6	事業名		テレワーク推進事業				
関係市町			全市町				
事業概要			圏域住民にテレワーク（在宅ワーク）の普及を図るため、テレワークの基礎知識などの講座を e ラーニングシステムにより提供し、テレワークに興味をもつ住民の掘り起こしを行う。				
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(2)						
事業費（千円）			1,000	6,000	4,000		
役割分担の考え方			静岡市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。				
費用分担の考え方			原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

47	事業名	中部5市2町イベントニュース発行事業				
関係市町		全市町				
事業概要		圏域内で開催されるイベントや見どころなどを紹介するイベントニュースを発行し、併せて Web サイトに掲載する。				
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年
3	(2)					2021 年
事業費（千円）			—	29,400	39,000	→
役割分担の考え方		静岡市がイベントニュースの編集発行等を実施する。関係市町は、掲載情報の提供と校正などを実施する。				
費用分担の考え方		静岡市が負担する。				

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

3 圏域マネジメント能力の強化

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	2018 年目標値	現状値	2019 年目標値
合同研修実施回数	1 回 (2016 年) 静岡市・焼津市	1 回	1 回 (2018 年)	1 回
自治体職員交流人数	—	4 人	4 人 (2018 年)	8 人

(1) 圏域の自立を担う人材・団体の育成

地域の個性を磨き、圏域の自立を担う人材や団体の育成などに取り組む

4 8	事業名	生涯学習推進事業（「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業）					
関係市町		全市町					
事業概要		静岡市で「構想力」「行動力」「人間力」を兼ね備えた市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材を養成するため、圏域において「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」の周知を図り、参加を促す。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(3)						
事業費（千円）			23,856	24,703	19,931		
役割分担の考え方		静岡市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。					

（注）事業費については、毎年度の予算により定める。

(2) 外部人材の活用による圏域の活性化

圏域が抱える課題解決、圏域の活性化を図るため、外部の優れた人材の活用などに取り組む

4 9	事業名	人材マッチング推進事業					
関係市町		静岡市・焼津市					
事業概要		関東経済産業局がもつマネジメントメンターデータベースに登録しているノウハウや経験を持った人材や市内企業 OB 等人材と静岡市、焼津市内の経営課題等を有する中小企業とのマッチングを目的とした交流会を連携して行う。					
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(3)						
事業費（千円）			763	689	1,790		
役割分担の考え方		静岡市が中心となって実施し、必要に応じて焼津市との協議により決定する。					
費用分担の考え方		原則として静岡市が負担し、職員の旅費については、各市で負担する。なお、その他必要な事項があれば、両市で協議し決定する。					

(注) 事業費については、毎年度の予算により定める。

(3) 自治体職員の育成

圏域マネジメント能力の強化に資する自治体職員の育成を目的とした情報交換や交流、人材育成事業等などに取り組む。

5 0		事業名		圏域内市町職員の人事交流			
関係市町				全市町			
事業概要				自治体を取り巻く環境の変化に対応し、様々な行政課題の解決を図れる能力・資質を持った職員や、圏域全体をマネジメントできる幅広い視野を持った人材を育成するため、圏域内の自治体職員の人事交流を実施し、職員の能力向上に取り組む。			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(3)						
事業費（千円）			—	—	—		
役割分担の考え方			関係市町と協議により決定する。				
費用分担の考え方			必要に応じて関係市町と協議して決定する。				

(注) 事業費については、毎年度の予算により定める。

5 1		事業名		合同人材育成研修会の開催			
関係市町				全市町			
事業概要				自治体職員の自己啓発等に関する事業について、圏域の職員が合同で参加できる機会を創出する。			
連携協約		年度	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)	2019 年 (H31)	2020 年	2021 年
3	(3)						
事業費（千円）			250	250	250		
役割分担の考え方			静岡市が中心となって実施し、必要に応じてその他の関係市町との協議により決定する。				
費用分担の考え方			原則として静岡市が負担する。必要に応じて協議しその他の関係市町が負担する。				

(注) 事業費については、毎年度の予算により定める。

10 計画の推進体制・進行管理

ビジョンの進行管理・見直しを含むビジョンの推進組織として、従来から設置されている「静岡県中部5市2町首長会議」を本ビジョンの推進組織の最上位に位置付け、その下に設置されている「同 担当部課長会議」によって、ビジョン全体の推進を図っていきます。

また、本ビジョンに登載されている個々の事業の実施に際しては、5市2町の事業所管課での密な連携を図るため、事業ごと連絡体制を構築し、必要に応じて事業連絡会を設置します。

ビジョンの見直しに際して、関係者の意見を幅広く反映させるため、ビジョン登載事業に関連する分野や機関の委員で構成するビジョン懇談会を策定後も継続設置し、ビジョンの進行管理、見直し等に関する検討を行います。

